

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム快明堂

目標達成計画

作成日: 令和元年 5月 8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	夜間ベッドからの降りた時の転倒による、骨折のリスクが高い利用者2名にセンサーマットを使用している。鳴る都度見守りとトイレ介助を行い、身体拘束には該当していないが、詳細の書面化がされていない	身体拘束に該当しなくても、相応の書面化をする	センサーマット使用の必要性を検討したことを記録に残し、その都度、本人の動きを止めないことを確認する	3ヶ月
2	4	運営推進会議への家族の出席者が、現在1名様で、開催のお知らせをしているが、なかなか出席していただけない	御家族に運営推進会議に興味を持っていただくことで、参加したいと思っていただく	御家族に運営推進会議の内容を報告し、同時に次回会議開催日の通知を行う	6ヶ月
3	35	施設内での災害対策は整備できているが、近隣施設等との具体的な協力体制の書面化ができていない	近隣施設等との災害対策をたてる	近隣施設等との協力体制の話し合いを行い、計画を立て、防災訓練に繋げる	12ヶ月
					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。